宮崎で働く、生きる

「就職ナビ」プレオープン座談会

人材を求める県内企業と地元で働くことを希望する若者のマッチングにつなげる宮崎日日新聞社のキャンペーン「宮崎県就職ナビ2020」のウェブサイトが5日にプレオープンした。プレオープンに合わせ「宮崎で働く、生きる」をテーマに、行政と大学関係者、県内で働く若手社員に、本県での就労、生活の実態や企業の採用活動の問題点などについて語ってもらった。

生活の中に仕事がある　春田

―宮崎で働くことを選んだ理由は。

春田　進学のため宮崎に来たが、大学在学中に感じた居心地のよさが決め手となった。人との距離が近くアットホームな雰囲気が気に入っている。就活は「仕事を選ぶ」というよりも、「生活を選ぶ」という感覚で臨んだ。

津曲　やりたかった企画職の募集を地元で見つけ受験した。今も時々福岡へ遊びに行くが、人の多い場所が苦手な自分には宮崎が合っているのかも。

―県内の大学に通う学生の就職状況を教えてほしい。

井手　宮崎労働局の調査によると、宮崎大医学部と県立看護大を除く県内の大学、短大、高専の今年3月卒業見込みだった約2500人のうち、内定が決まったのは約1900人。このうち、約44％が県内に内定した。割合は例年とあまり変わりないが、他県に比べて低く感じる。本県は社会系より技術系の学部が多く、県外に流出しやすい傾向がある。

西村　宮崎大の場合、全学生のうち本県出身者は約4割。県外出身者は就職を機に地元に帰ると考えられる。県内企業の技術や魅力を知ってもらい、卒業後も残ってもらえるようになれば、県内就職の割合は上げられると思う。

―学生を取り巻く就職戦線は売り手市場が続いている。

井手　人材不足は深刻で、採用活動の解禁前に企業が学生にアプローチする「青田買い」や、囲い込みも全国的に行われているのが現状。

西村　企業は人材確保に苦労している。ただし、売り手市場なのは中小企業の話。大手企業は採りたい人材の水準を維持している。

―実際に働いて感じることは。

津曲　ゆったりと時間が流れ、せかされず自分のペースで働ける。広報の仕事をしており、普段なかなか会えない人に取材する機会も多く、自分自身の人間力も高められている気がする。地元なので友達も多く、休みの日は一緒にドライブに出掛けたりして満喫している。

春田　入行以前に想像していた以上に責任のある仕事を任されており、「仕事をしている」という感じがして、毎日楽しい。東京で働く宮崎出身の友達と話すと、「仕事をするために生活している」というような印象を受ける。自分は生活の中に仕事があって、仕事以外の時間にも濃さがある。

はるた・まこ　1995年、鹿児島県薩摩川内市生まれ。宮崎大教育文化学部を卒業後の2018年、宮崎銀行に入行。本店で扱う資金の管理を担当している。大学進学を機に暮らし始めた宮崎の好きなところは「日常にあるリゾート感」。休日に友人と青島ビーチパーク（宮崎市）へ出掛けるのが楽しみ。

企業認知へ取り組み　井手

―若手社員の離職は深刻な問題。本県の離職率はどの程度か。

井手　大学などを卒業して就職した後3年以内に離職した人の割合は、全国平均が3割なのに対し、本県は4割と高い。就職前に聞いていた就業時間より長かったなど、労働条件と異なる働き方を迫られた例や、年齢を重ねたときのキャリアプランを描けず「将来に望みが持てなくなった」と感じて辞めるケースもある。

西村　辞める原因としてよく聞くのは、働く前に抱いていたイメージと違ったという声。希望した部署に配属されなかったり、思っていた仕事と違ったりしたことが大きな要因になっている。

―採用活動における県内企業の問題点を指摘して。

西村　就職活動が解禁されたとき、県内企業は県外より一拍間が空いてスタートしがちだった。今は学生の数も限られているので、企業も早く動こうとしているが、まだアピール力が足りない。

―アピール力とは。

西村　例えば、宮崎大の4年生に「県内企業を10社挙げて」と言っても、「知らないから書けない」という学生が大勢いる。企業はまず自社の名前を覚えてもらう必要がある。さらに、何をしている会社なのか伝えない限りは就職の対象にはなり得ない。

春田　大学で、県内の中小企業を知るための授業を受けていた。それがなければ知らなかったと思う企業も数多くあった。実際にインターンシップに参加したり、試験を受けたりしたのは、ある程度知名度や規模がある企業だけ。

―情報発信の弱さは企業にとって大きな課題。

井手　職場体験やインターンシップを通じて小中学生のうちから企業名を覚えてもらえるよう、県も一体となって取り組んでいる。学生はやりたい仕事のイメージをしっかり持っていて、志望する企業や業界の将来性まで見ている。

西村　大学では、卒業後にどんな生活をしてどのように輝くか、企業は自分の生活を充足してくれるかを（情報を基に）イメージするようキャリア教育をしている。ただ、多くの企業は人事担当と総務を掛け持ちするなどリクルート専門の人がいない。そんな中でも、企業の担当者が「30代の年収は」などといった具体的な質問に答えられる環境をつくらなければならない。

力を抜いて頑張って　津曲

―就活を控える学生にアドバイスを。

津曲　納得いくまで続けることは重要だが、第1志望の会社に入れなくても大丈夫。大事なのは、入った後に自分がどうするかだと思う。目標にこだわり過ぎず、力を抜いて頑張ってほしい。

春田　今はインターネット上に情報が豊富にあるが、それだけで就活を進めないで。イメージと違うこともあるので、受ける可能性や興味が少しでもある企業には、実際に足を運んでほしい。

―企業や行政に求められることは。

西村　学生への認知度向上は必須で、就活にまつわる県内情報を一元化すべきだ。例えば、合同の会社説明会は、県も大学も、市町村も開いており、無駄になっている可能性がある。加えて企業には、積極的に学生に会うようお願いしている。学生のことを知れば、県内就職に結び付けるための戦略を組めるはずだ。

井手　給与水準は低いかもしれないが、可処分所得も含め総体としてみると、仕事も生活も楽しめる。それが分かれば就職先として宮崎は選ばれるはずだ。いろんな働き方はあるが、最終的に宮崎に住んで働き、その人の人生が幸せになる―。そんな宮崎にしていきたい。

にしむら・いさみ　1965（昭和40）年、東京都世田谷区生まれ。多くのベンチャー企業で人材採用・育成を手掛けたのち、2016年に県内大学生の地元定着を図り、離職減少を目指す「みやざきCOC＋地元定着推進室」の推進コーディネーターとして宮崎大に赴任。サーフィン歴35年で、華麗に波を乗りこなす。

いで・よしや　1959（昭和34）年、串間市生まれ。横浜国立大卒業後の82年、県庁入り。東京事務所次長、県参事兼総合政策部次長などを経て、4月から現職。本県の産業人材育成と確保、観光地の振興活動に取り組む。「ミニベロ」（小径車）でのポタリング（自転車散走）が趣味。

つまがり・ゆうき　1993年、宮崎市生まれ。宮崎西高、福岡大商学部を経て、2017年、宮崎南印刷に入社。県内の観光地やグルメ情報満載のフリーマガジン「るるぶＦＲＥＥ」や、県内企業の社内報などの制作を担当する。渓流を見に出掛けたり、釣りをしたりして、休日を満喫している。

座談会出席者

県商工観光労働部長　井手　義哉さん（58）
宮崎大教授　西村　勇さん（53）
宮崎南印刷企画編集部　津曲　祐希さん（25）
宮崎銀行本店営業部　春田　真子さん（23）
司会　宮崎日日新聞社編集局次長　杉尾　守

大学生の就職活動スケジュール

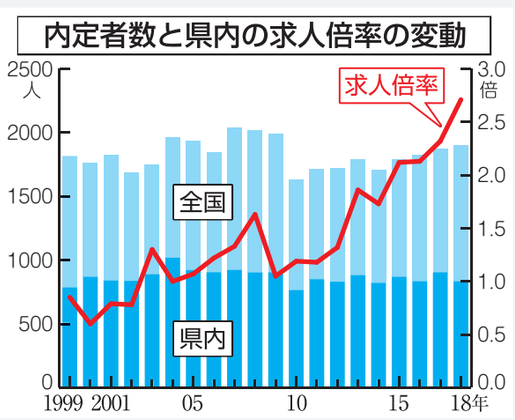
大学3年 3月	大学4年 6月	大学4年 10月
会社説明会	面接などの選考解禁	採用内定の解禁

※経団連加盟企業の場合（2018年現在）

本県18年3月卒学生就職先　県内内定者43.9％

宮崎労働局によると、県内の大学、短大、高専（計9校）を2018年3月に卒業見込みだった学生のうち、3月末時点で就職先が内定したのは1901人（前年同期比25人増）。このうち、県内に就職が決まったのは834人（同70人減）で、就職内定者に占める県内内定者の割合は43・9％（同4・3ポイント減）だった。

県内企業の求人倍率は右肩上がりで、13年以降は高水準。18年は過去最高の2・71倍を記録した。一方、県内内定者の割合は、記録が残る1998年以降、43～52％で、求人倍率にかかわらず一定で推移。同局職業安定課で新卒の就職支援を担当する徳永圭輔さんは「売り手市場で大手企業を狙う学生も多い。県内企業は求人数を埋められていないのが現状」と話し、人繰りに苦労する企業も少なくないとしている。



「宮崎で働きたい！」あなたを応援する

本日プレサイトオープン!!

宮崎県就職ナビ2020

いますぐ会員登録!

EVENT　就活プレイベント5回、合同就職説明会を3回、計8回のイベントを開催!各企業ブースでは採用担当者と就活生が直接コミュニケーション出来ます。

プレイベント「みやざき×働く」ミーティング（予定）
宮崎会場　2019年 1/17（木）　ニューウェルシティ宮崎　宮崎市宮崎駅東1-2-8
東京会場　2019年 1/23（水）　アルカディア市ヶ谷　東京都千代田区九段北4-2-25

合同就職説明会（予定）
宮崎会場　2019年 3/4（月）　ニューウェルシティ宮崎　宮崎市宮崎駅東1-2-8

福岡会場　2019年 1/28（月）　博多CHANE-CLAIRE（シャンクレール）　福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-8 住友生命博多ビルB1F
宮崎会場　2019年 2/1（金）　ニューウェルシティ宮崎　宮崎市宮崎駅東1-2-8
宮崎会場　2019年 2/19（火）　ニューウェルシティ宮崎　宮崎市宮崎駅東1-2-8
宮崎会場　2019年 4/3（水）　ニューウェルシティ宮崎　宮崎市宮崎駅東1-2-8
宮崎会場　2019年 7/19（金）　宮日会館10階　宮崎市高千穂通1-1-33

WEB　宮崎での就活情報満載のWEBサイト。魅力ある地元企業やそこで働く皆さんのありのままの姿や想いを伝えます。

会員特典
- WEBエントリーが簡単便利
- 会社説明会予約やセミナーのエントリーが簡単
- 県内企業の魅力や各種情報を発信
- 就活に役立つ情報満載

プレゼント
- 登録者にオリジナルバインダーをプレゼント
- 情報誌「MIYAZAKI LIFE & JOB 先輩からのメッセージ」をプレゼント

https://www.miya-navi.com/2020
宮崎日日新聞ホームページTOPページからアクセス!　みやにち　検索

県内企業の情報をどんどん流していきます！

まずは、お友だち追加!　LINE@　ID検索 @dtw3626z
まずは、いいね!　Facebook　宮崎県就職ナビ2020
まずは、フォロー!　Twitter　宮崎県就職ナビ2020

お問い合わせ　宮崎県就職ナビ2020事務局（宮崎日日新聞社業務局企画開発部）〒880-8570　宮崎市高千穂通1-1-33　TEL.0985-26-9333（平日9:00～17:00）　宮崎日日新聞 THE MIYANICHI